

講座番号
C002

さくらの文化史

講座講師・内容

福島菜穂子 [国際食料情報学部准教授]

今回のテーマは「桜のおはなし」です。桜が登場するお話、小唄などなど、いろいろご紹介いたします。みなさまで、味わってまいりましょう。外国の桜の童話などにも触れます。講義とともにディスカッションもしながら、進めていきます。ストーリー性のある名前をもつ桜にもふれます。

福島菜穂子[2013年国際アジア学会(ICAS)よりベスト・スペシャリスト賞受賞。
『小綱代の森の住人たち』『嬉しい干渴学』(八坂書房)の著者]





さくらの文化史

2018年4月 1時～2時半

東京農業大学 福島菜穂子

本日のメニュー

○始まる前に～

最後に、「花咲爺」のこと、いろいろと伺いたいので、
考えておいてくださいませ。たとえば、こんなこと。

- ・ 犬の名前は、ボチ？それとも？
- ・ 「花咲爺」のお話し、お好きですか。どうして？
- ・ 「花咲爺」になりたいですか。どうして？
- ・ 「花咲爺」は、犬の言葉がわかるの？犬がしゃべるの？
- ・ 「花咲爺」ともうひとりの爺のちがいは何？
- ・ どうして桜なんだろう？

① ふたつ、教えてください。

まず、犬は、ボチ？ふたつめ。皆さま、桜に関して、願いがかなうなら、
どんな願いをかなえてもらいましょうか？ <3行で“〇”>

～自己紹介の代わりに

② ヒマラヤの童話

③ 日本の童話

④ 「花咲か爺」のこと、みんなで考えたこと感じたこと、話しましょう。 (おひとり1回につき3行で、どうでしょう:D)

⑤ お話しの桜

⑥ 古典の作品と現代の小説